

二〇二六年度 人文学部 日本・東アジア文化学科 指定校制推薦入学

【小論文問題】

問、「写真の謎」と題された次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

(1) 写真って不思議な表現ジャンルだと思う。猫が好きな人が、本屋でたまたま見つけた猫の写真集を買ったとする。自分の部屋でお茶を飲みながら、それを広げて眺めるとき、その人は「写真を見ている」ことを特別に意識してはいないんじゃないか。写真を通して (ア) ヒシヤタイつまり猫そのものを見ているのだ。

これが絵画だったらどうだろう。自分が「絵を見ている」ことを意識しないまま、猫の絵を眺めるようなことはまずないと思う。それが写実的であればあるほど、「絵を見ている」ことは自覚される。その (あ) 証拠に、猫の絵を見て「なんて生き生きと本物そっくりに描かれているんだ」と思うことがある。でも、猫の写真を見て「なんて生き生きと本物そっくりに撮られているんだ」とは思わない。

その理由を訊かれたら、私はなんと答えるだろう。だって (X) 写真の猫は実際に生きているんだから、などと云うかもしれない。

でも、「実際に」生きているとはどういうことだ。絵のモデルになった (A) 画家の飼い猫だって「実際に」生きているのに。そう考えると、「実際に」を支えているのは、写真というジャンルの表現としての (イ) トウメイ度の高さ」ではないか、と思えてくる。

我々の多くは、カメラという機械が現実の対象物を基本的にはそのまま取り込んで写真に加工している、と (い) 漠然と考えているのだ。

絵の中の猫はモデルになった猫そのものではないが、写真の中の猫はヒシヤタイの猫そのもの、という見る側の意識の違いは、この「そのまま」性すなわち表現のトウメイ度に対する認識の差によって支えられている、と思う。

だが、絵の中の猫が実物以上の存在感を放つことがあるように、写真から現実のヒシヤタイ以上のオーラを感じることがある。写真の猫が猫以上のものに、写真のコップがコップ以上のものに見えるのだ。その現象の意味はなんだろう。

例えば、写真に写っているものの正体がわからないことがある。写真集の次のページを捲ってやると気づく。ああ、さっきのあれは飛行機の (ウ) ビヨクが拡大されたものだったのか。そう思っただけで、確かにそうだ。普段の私にとって飛行機は全体として飛行機であり、ビヨクだけを意識して見ることがないために、その拡大写真に (エ) キミヨウなオーラを感じたのだろう。飛行機から独立したビヨクを「そのまま」見せられて戸惑ったのだ。なんとなく (う) 理屈がわかって安心する。

では、丸ごと写っている猫やコップが、異様な存在感を放っている場合はどうか。

我々が写真の中のコップを「お茶の入ったコップ」として認識できるのは、その実物を知っている

からだ。コップを手でもったことがあり、その中のお茶を飲んだことがあり、時にはコップを落とす
て割ってしまったたり、お茶を胸に零したこともある。そのような経験の総体が、写真の中のコップを
見ることでも無意識のうちに復元される。

飛行機のビヨクがキミヨウなオーラを放っていたのは、自分はこれを知っているらしいと感じつつ、
正体に思い至らなかったために、本来の像を復元することができなかったためだろう。

だが、例えば、生まれたての赤ん坊にとってはコップだって同じことだ。コップ体験がゼロの赤ん
坊がその写真を見ても、コップを「そのようなもの」として (B) 認識することができない。現実
における存在感を復元することができないのだ。

そして、カメラのレンズは或る意味で生まれたての赤ん坊の目に近いとは云えないか。その眼差し
は、コップが割れることを、お茶が飲めることを、その他の全てのことを、全く知らないのだ。

優れた写真家が、このカメラ自身の眼差しを生かして世界を切り取ったとき、撮られた写真にはオ
ーラが宿る、というか、見る者がそれを感じるのではないだろうか。

そのような写真を見るとき、我々はとくに (2) 失ったはずの赤ん坊の眼差しを再び与えられる
ことになる。それは過去の経験の総体を無化して、ヒシャタイの日常的な存在感を解体してしまう。

毎日を生きる上では不都合 (え) 極まりない、そんな眼差しを (お) 束の間得ることに、我々がキ
ミヨウなときめきを覚えるのは何故か。それは、日常の名のもとに固定された生の意味のリセットと

再 (オ) コウチク、さらには拡大に繋がる歎びだと思われる。

(穂村弘『野良猫を尊敬した日』による)

問一 傍線 (あ) (お) の漢字の読みをひらがなで書け。

問二 傍線 (ア) (オ) のカタカナを漢字に直せ。

問三 傍線 (A)・(B) の語を英語に訳せ。

問四 傍線 (X) の日本語を、英文に訳せ。

問五 傍線 (1) 「写真って不思議な表現ジャンルだと思う」とあるが、何故「不思議」だというのか。

「絵画」と比較しつつ、一〇〇字前後で説明せよ。

問六 傍線 (2) 「失ったはずの赤ん坊の眼差し」について、本文全体の趣旨を踏まえつつ、あなた自
身の考えを四五〇〜五〇〇字で述べよ。